

まちづくり構想（案）の検討

- 町域・団地の現況からの課題
- ① 高齢化対応の必要性
  - ② 少子化対応の必要性
  - ③ 多様な世代が居住する必要性
  - ④ 世帯の小規模化に関する必要性
  - ⑤ 若い世代の入居の促進
  - ⑥ ニーズに合った住戸の改修

委員の皆様のご意見	アンケートの結果			
	問8 (周辺環境への不満)	問8 (周辺環境への将来不安)	問20-1 (活気を与えるために必要なこと)	問20-2 (利便性や安心安全のために必要なこと)
安心・安全なまち	住まいの充実度 災害への対応など安全性の充実度	住まいの充実度 災害への対応など安全性の充実度		地域の防災・救急の役割を果たす機能を充実させる 災害時には団地住民全員に対応できるような避難所の機能を充実させる
団地内既存住戸・住棟を有効活用したまち				
高齢者が安心して暮らせるまち	医療施設の充実度	高齢者福祉施設の充実度 医療施設の充実度	高齢者の安全・安心に配慮したバリアフリー環境を充実させる 高齢者施設・介護サービスを充実させる 診療所など医療施設的环境をととのえる	
子育て世代が安心して暮らせるまち	医療施設の充実度	医療施設の充実度	団地内に若い世代が暮らしやすいような施設や子育て環境をととのえる 診療所など医療施設的环境をととのえる	
多様な人々が楽しく交流できるまち			高齢者から若者まで多世代が交流し、共に活動できる場をふやす	
市民活動やスポーツ、文化活動等のできる場所の整備				
ショッピングセンターの魅力充実		日常の買い物の利便性		様々な世代のニーズに応える日用品が、団地内でそろそろような商業施設を充実させる 団地外からも人が集まり賑わいを生み出すような商業施設を充実させる
交通の便利な、暮らしやすいまち	歩道などの歩行者環境			バスなど公共交通機関を充実させ団地外の地域とのつながりを充実させる
その他	緑や公園、スポーツの場の充実度			緑豊かな緑地環境を活かして閑静な住宅地をめざす

木曾山崎団地地区まちづくりの課題（骨子）

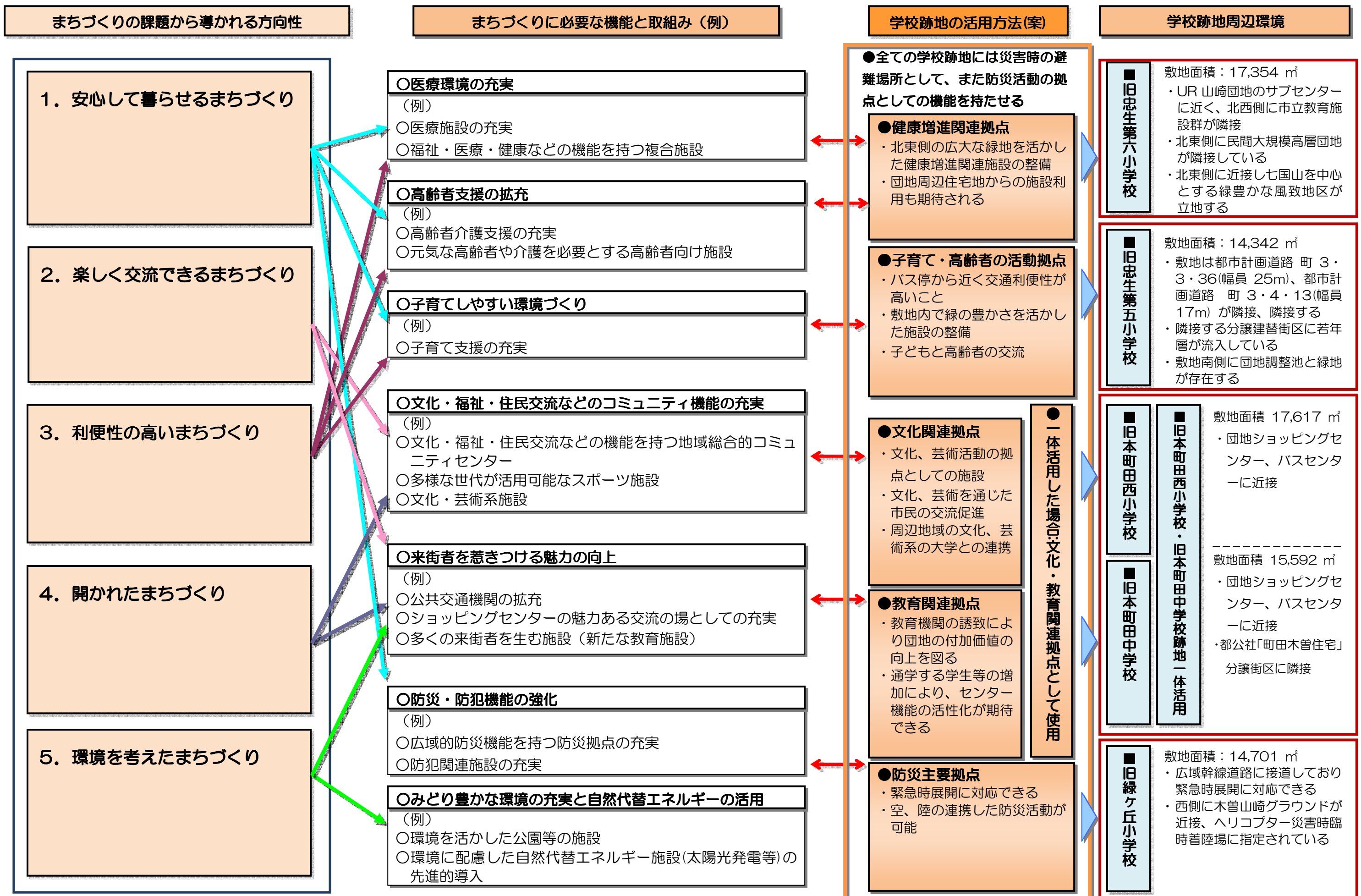
- 1. 安心して暮らせる環境の充実**  
住戸の改善、震災対策や防犯、医療・福祉施設の充実など、安心して住み続けられるまちを作る必要がある。
- 2. 楽しく交流できる環境の充実**  
多様な世代、ライフスタイルの人達が集い、交流できる場所や、コミュニティを作る必要がある。
- 3. 利便性の向上**  
高齢者や子育て世代などすべての居住者が、暮らしやすい、生活サービスや公共交通を充実する必要がある。
- 4. 周辺から訪れたいくなるまちの魅力の向上**  
訪れたいくなる、住みたいくなる、歩きたいくなる団地の魅力を作る必要がある。
- 5. 環境への配慮**  
みどりがあふれ、省エネルギーや省資源対策に配慮したまちを作る必要がある。

まちづくりの目標  
(キャッチフレーズ案)

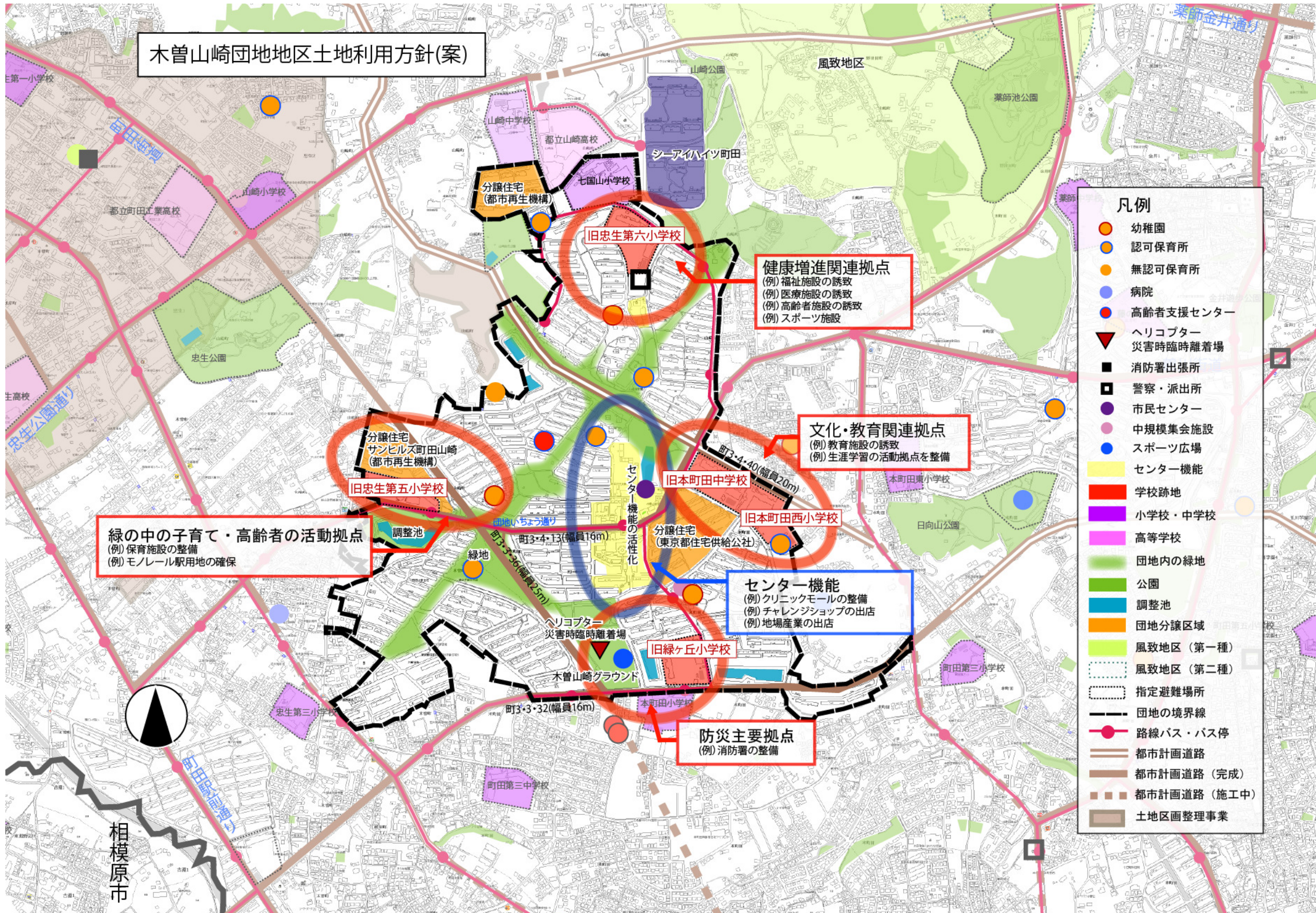
多様な居住者が  
住み、集う、  
新たな魅力づくり  
の実現

※アンケート結果は、各質問における上位5位の選択肢を掲載。

# まちづくりの方向性と学校跡地の活用方法（案）の検討



# 木曾山崎団地地区土地利用方針(案)



## 凡例

- 幼稚園
- 認可保育所
- 無認可保育所
- 病院
- 高齢者支援センター
- ▼ ヘリコプター 災害時臨時離着場
- 消防署出張所
- 警察・派出所
- 市民センター
- 中規模集会施設
- スポーツ広場
- センター機能
- 学校跡地
- 小学校・中学校
- 高等学校
- 団地内の緑地
- 公園
- 調整池
- 団地分譲区域
- 風致地区 (第一種)
- 風致地区 (第二種)
- 指定避難場所
- 団地の境界線
- 路線バス・バス停
- 都市計画道路
- 都市計画道路 (完成)
- 都市計画道路 (施工中)
- 土地区画整理事業

**緑の中の子育て・高齢者の活動拠点**  
 (例) 保育施設の整備  
 (例) モノレール駅用地の確保

**健康増進関連拠点**  
 (例) 福祉施設の誘致  
 (例) 医療施設の誘致  
 (例) 高齢者施設の誘致  
 (例) スポーツ施設

**文化・教育関連拠点**  
 (例) 教育施設の誘致  
 (例) 生涯学習の活動拠点を整備

**センター機能**  
 (例) クリニックモールの整備  
 (例) チャレンジショップの出店  
 (例) 地場産業の出店

**防災主要拠点**  
 (例) 消防署の整備

相模原市